

「自然と人と」 ふれあい9泊10日間

第3回 フロンティア・アドベンチャー

実施日程

7/24 集合(郡山少年自然の家)
出合いのつどい
オリエンテーション

7/25 基地設営

7/26 原始生活体験活動

7/27~ 班別活動

探検班	探究班
<ul style="list-style-type: none"> 小屋づくり 中の沢川原流渡り 小国沼・猪苗岳登山 	<ul style="list-style-type: none"> ステーションづくり 水、生物生態生息調査 デコ平自然環境観察登山

7/30 活動報告会
生還パーティー

7/31・8/1 不動滝沢登り
祭り・キャンプファイヤー

8/2 基地撤収
別れのつどい・
解散(猪苗代駅)

県教育委員

会主催の第三

回「自然に挑

戦」フロン

ティア・アド

ベンチャー」

は、北塩原村

小野川地区の

標高九百メー

トルの山野を

舞台上に、県内

各地から推薦

された小学五

年生から中学

三年生までの

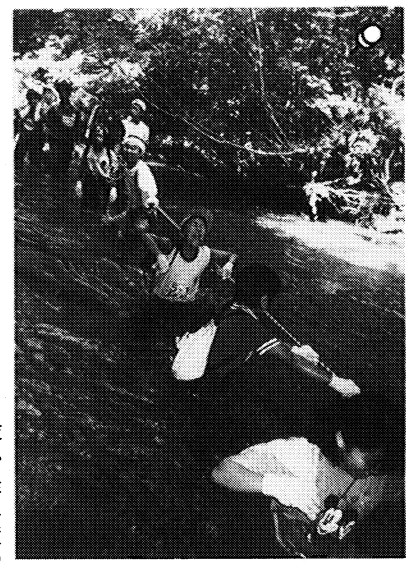
五十一名が参

加して、七月

二十四日から

八月二日まで

の九泊十日の



ロープを伝って、中の沢川原流渡り



自然探究ステーションと出来上がったレポート

日程で実施されました。大自然の中で長期にわたる自給自足生活に挑戦し、「出合い、ふれあい、助け合い」の体験を通して、たくましさ、忍耐力、自然や物を大切にする心、自立心などの体得がねらいです。

第三回の本年度は、初年度の「原始生活による助け合い、ふれあい体



さあ 今日から原始生活

験」、昨年度の「困難に挑戦し、克服する体験」に引き続き、「自然と人と」のより深いふれあい体験をテーマに「汗とちえの挑戦」、「科学の目による挑戦」として、キャンプ期間中の三泊四日間を探検・探究活動の日として別

表のような日程で実施しました。はじめの三日間で芽ばえた友情と心のきずなをもとに次の班別活動でふれあいの輪をひろげ、最後に再びもとのグループでより広い心、深いふれあいをめざした活動を展開しました。最後の夜のキャンプファイヤー、猪苗代駅での別れの感激はひとしおで、迎えの保護者の方々も、深い感銘と共感を得たようでした。指導者間の連携、よりきめの細かいプログラムの改善など今後課題も残していますが、所期の目的を果たし、一人の事故もなく終了できたことは大きな成果といえましょう。